

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

- ・教育内容や教育手法の改善に組織的に取り組むファカルティ・ディベロップメント（FD）活動が全学的に行われており、学生からの授業改善アンケート結果の検討に加え、学生理解、コーチング、プレゼンテーション技法、カリキュラム、教育評価等について、専門とする講師から全教員が研修を受けている。
- ・教員養成課程担当の教員による学習指導案ルーブリックの共同作成や成果物を通じた検討会の実施、必修授業の複数教員による担当、芸術教育資格支援センター会議等における協働的な取り組みを通して、教育内容や方法、学生支援についての情報交換や改善活動を恒常的に行っている。
- ・芸術教育資格支援センター、こども芸術学科内に、各社教科書、参考書、専門書、専門雑誌、学習指導案等、授業づくりや教員採用試験に関わる文献・資料を整備し、学生・教員への情報提供を行っている。
- ・学芸員養成課程担当の教員を交えて専門領域を超えた意見交換を継続的に行っている。「夏休み小学生対象芸術館サマースクール」では、博物館経営、博物館教育を専門とする教員と連携し、ワークショップおよび報告展の実施を通して、芸術大学の特性を活かしながら実践的な知見を得ている。
- ・学外との連携については、「京都地区大学教職課程協議会」及び「京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会」において、関係研究大会・情報交換会等に参加し、教職課程を有する近隣大学や関係団体・機関との相互交流・情報交換を継続的に行うとともに、時事的な教育課題について学ぶ機会を得ている。
- ・原則として全ての学生の教育実習校を本学教員が訪問し、幼稚園・中学校・高等学校教員との情報交換を行っている。ここでは個別の学生指導のための情報のみならず、教育現場の実態や大学教育への要望も聞くことで、カリキュラム改善に活かしている。
- ・本学の教職課程に関する計画と取り組み、実態については、毎年度実施される「教員養成カリキュラム委員会」において、構成メンバーである副学長、学部長、関係学科・コース長に共有され、大学全体のカリキュラム改善活動、社会状況、学生事情に応じた恒常的な見直しと改善が組織的に行われている。